

# 愛ランド通信

～人と動物の共生を目指して～ 平成28年度春号

## 犬&猫の飼い方 注意情報

### 犬の鑑札と注射済票は必ずつけんとあかん!

■鑑札・注射済票をつける意味 みなさんは愛犬に鑑札と狂犬病予防注射の注射済票を装着していますか? 「鑑札って何?」「病院で何かもらったけど、2種類もあったかしら?」と思った方も多いのではないのでしょうか。

飼い犬が登録されている証となる鑑札は、愛犬が迷子になった場合にも、速やかに飼い主を探す大きな手がかりになります。鑑札が無ければ「飼い主のいない犬」となってしまいます。また、注射済票をつけていないと、愛犬が人や他の動物を咬んだ場合、予防注射をしていても狂犬病を心配され、いらぬ誤解を招きかねません。

■法律で義務づけられている 犬の所有者は、①現在住んでいる市町村に登録申請をし、鑑札の交付を受ける。②年1回の狂犬病予防注射を受けさせ、注射済票の交付を受ける。③鑑札と注射済票の両方を装着する。以上のことが、狂犬病予防法で義務づけられています。

登録は犬の生涯で1回ですが、住所や飼い主の名前の変更、犬の死亡などの場合、30日以内に届け出が必要となります。

狂犬病の予防注射は小学校等において実施している集合注射か動物病院で受けられます。しかし、動物病院で受ける場合、獣医さんが発行する証明書「注射済証」しかもらえない場合があり、その時はお住まいの市町村の役所や保健センターで「注射済票」を交付してもらう必要があります。鑑札・注射済票を犬に装着しないなどの飼い主は20万円以下の罰金に処せられることがあります。なお、鑑札や注射済票を無くした場合は、再交付することができます(有料)。

■どうやって着けたらいいの? とは言っても、鑑札・注射済票がプラプラして邪魔、咬んでしまうなどの理由で、装着することをためらっている人がいるとの話も聞きます。鑑札と注射済票と一緒に収納できるケースなども市販されていますし、ネットで調べてみると首輪に縫いつけたり、金具で固定する方法など様々なアイデアが紹介されています。『京都市情報館』のホームページでも、リードフックへの装着例を写真で説明しているのので、チェックしてみてくださいね。(M・I)



## インタビュー

センターから譲渡されたニャンコその後、どうしていますか?

### 家族に迎えて

「家に帰ると猫3匹がそれぞれの流儀で出迎えてくれます。じゃれあって遊ぶ姿も寄り添って寝ている姿も見ているだけで幸せです」という北村さん。

それでも、当時、生後3ヶ月だったドロシーちゃんとジェイクン&ピーチちゃんの兄妹を迎える際には「世話をする手間や時間は確保できるか? フードやグッズ、避妊去勢手術費用や毎年のワクチン接種、医療費などを負担できるか?一匹一匹に十分なスペースを確保できるか?病気などの際には部屋を別々にできるか?」等々、しっかりと検討し、職員さんにも相談しながら最終的に決断しました。今までの経験から、兄妹を含む3匹なら日々の世話も大きな負担にならないと感じたことや、もしもの時、代わりに面倒をみてくれる身内は2ヶ所確保できたことも決め手に。

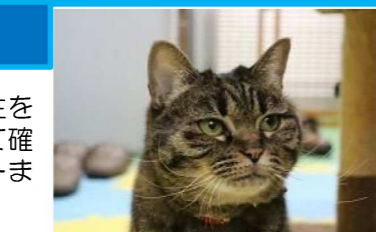
「信頼できるかかりつけ獣医さんにも話をしました。共働き



▲上からピーチちゃん、ドロシーちゃん、ジェイクン

▲お嬢さんの佳鈴ちゃんとピーチ

2年前の夏、旧京都市家庭動物相談所から3匹の子猫を譲り受けた北村敬子さんに複数飼いの楽しさとご苦労をお聞きしました。



センターが開所して5月で1年になります。たくさんの動物たちがセンターから新たな家庭へと旅立って行きました。これからは多くの動物たちに幸せな家庭が見つかることを心から願ってやみません。機関紙も2年目を迎えました。読者の皆さまからの感想なども聞かせていただければ嬉しいです。(オバQ)

編集後記

本紙は「京都市人と動物が共生できるまちづくり基金」からも出資していただいています。この他、当基金を京都動物愛護センターを中心とした動物愛護事業の拡充のために活用させていただいております。

## 3匹の猫たちと暮らす幸せは3倍以上

2年前の夏、旧京都市家庭動物相談所から3匹の子猫を譲り受けた北村敬子さんに複数飼いの楽しさとご苦労をお聞きしました。

で子供もいる我が家にとっては、常に遊び相手がいることで運動不足が解消されたり、留守中の寂しさや退屈が少なくなるというメリットもありますが、いたずらの破壊力などは3倍以上です。実際、引き取って一週間もしないうちに、ジェイクンは後ろ足を負傷し、獣医さんのお世話にもなりました(涙)

ただ、当初から毎日ケージに入って過ごす時間を作り、キャリーバックにも慣らすなど『万が一』を考えていたおかげで、誰かに預かってもらったり、獣医さんに行く時にもあまりストレスを感じないようです。」何事にもパワーが3倍必要ですが、猫たちからもらえる喜びや癒やしは3倍以上ですね♪ (iroha)



▲お嬢さんの佳鈴ちゃんとピーチ

## 案内

京都動物愛護センターには、新しい飼い主を募集している犬と猫がいます。譲渡に関して確認事項もありますので、まずは愛護センターまでお電話下さい。

## センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩5分
- 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
- 京都市営バス十条大宮停留所から徒歩5分



※無料駐車場はございません  
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地  
電話:075-671-0336 FAX:075-671-0338  
開所時間:午前9時~午後5時  
休所日:木曜日(祝日の場合は翌金曜日)、年末年始  
発行:京都動物愛護センター  
平成28年4月 日



## 特集 迷子犬猫をなくすために!

	犬	猫
犬・猫の迷子の届出件数	約760匹	約830匹
うち、飼い主が見つかった割合	55%	27%

表の数字は、平成26年度に京都府・京都市に犬・猫の迷子の届出があった件数です。随分たくさんの犬や猫が迷子になっているのですね。特に猫はたったの27パーセントしか飼い主が見つかっていません。

子供の頃、タロウという猫を飼っていました。ある夜、上アゴに大きな魚の骨がひっきり取れなくなったので獣医さんに連れて行きました。骨は無事取れたのですが、帰りに車に乗せようとした際、恐怖のあまりタロウは抱いていた私の腕の中から逃げ出してしまいました。暗闇の中、しばらく探したのですが見つかりませんでした。

その後、両親に探しに行きたいとも言えず、結局タロウが戻ってくることはありませんでした。あの時、どうしてもっとしっかり抱きしめていなかったのかと、今も思い出すと悲しくなります。キャリーケースやマイクロチップなんて一般的でなかった時代のことでした。



## 暗闇に消えたタロウ・・・

動物好きの私は、子供の頃、他にも様々な動物を飼いました。最後に飼った犬は雑種でトジコと名付けました。ところが、ある時家からいなくなったので、慌てて探したところ保健所に収容されていました。いつも明るイトジコがコンクリートの狭い檻に入れられて怯えきっていました。迷子札すらつけていませんでしたから、当時はもう2、3日遅ければ殺処分されていたでしょう。それからはずないで飼うようになりました。トジコは長生きしましたが、あの時の怯えた表情は今でも忘れられません。今思えば、私は動物たちにずいぶんひどい扱いをしていたなと後悔ばかりです。

そんな悲しい思いをさせないで済むように、私たちに何ができるでしょうか?今回はペットの飼い主の方にぜひやっていただきたい迷子の防ぎ方と探し方についてご紹介します! (オバQ)



穏やかなアキラさんも保護された犬なんです。





# 特集 迷子犬猫をなくすために!

## ペットを迷子にさせない!

何よりもペットを迷子にさせないことが大切です。そのためにどんな工夫ができるかをご紹介します。

### Point ①

- 首輪
- 鑑札
- マイクロチップの装着

迷子のペットを見つけるために何よりも大切なことは、飼い主さんの情報がわかることです。ペットの名前、飼い主さんの名前と連絡先を明記した首輪をつけてあげましょう。犬の場合は鑑札も必要ですね。また、獣医さんでマイクロチップを装着してもらうことも効果的です。アメリカでの話ですが、自動車事故にあった際に逃げてしまった飼い犬が、マイクロチップを装着していたおかげで2年

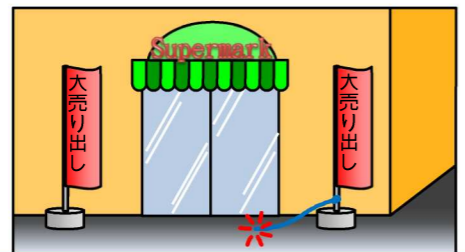
も経った後に見つかったそうです。マイクロチップを入れておけば、全国どこで保護されても飼い主さんの連絡先がわかるようになっています。京都市ではマイクロチップ装着に対する助成金制度もありますので、獣医さんに相談してみてくださいね。

### Point ②

- 迷子になる原因を取り除きましょう

### 犬の場合

- ・リードなしのお散歩は、条例で禁止されています。近隣住民とのトラブルになることもありますから、必ずリードをつけましょう。
- ・犬を車の中に入れてそのまま買い物に行ったり、スーパーの前に繋いでおくのはお勧めしません。車の中にいた犬が盗まれたケースや、交通事故にあったケースが報告されています。



- ・雷の音などに驚いて脱走してしまうこともあります。音に怯えて様々な問題行動を引き起こすこともありますので、ひどい場合は獣医さんやドッグトレーナーに相談してみてください。
- ・ドッグランでは、二重ドアを同時に開けないようにしましょう。リードもつけていない犬が突然飛び出してしまいかねません。
- ・日頃から逃げないようにし、呼べば戻ってくるようしっかりしつけをしておきましょう。

よい行動をした時に、褒めたりおやつを与えるトレーニングは、飼い主と犬との信頼関係を高めることにも役立ちますよ!

### 猫の場合

- ・猫は屋内で飼いましょう。ただし、屋内飼養の場合、運動不足により肥満になりがちです。猫タワーなどを設置して上下運動ができるようにするとともに、猫が活発になる朝夕の時間帯に1日1~2回、おもち



オバQさんの愛猫 トノさん

やヒモなどで遊び、たくさん運動させるとよいでしょう。・キャリーに入れて出かける場合は、猫を洗濯ネットに入れてからキャリーに入れると脱走防止になり、恐怖心が和らぐこともあるそうです。

## 番外編 避妊去勢手術をしましょう!

機関誌チームメンバー、noeさんの飼い猫は、もとノラ猫。去勢前は気性が荒く外に出たくて激しく泣き叫んでいたのですが、去勢した途端に人(ネコ?)が変わったように静かで人懐こくなり、外へ出たがらなくなったそうです。また、手術を行うことで、迷子になっても外で繁殖しませんから、望まない犬猫を増やさないことにもつながります。ちなみに、うちの去勢済みオス猫のトノは暖かくなると外に出ようとしています。猫にもよるのかな?(笑)。

## もしも迷子になったら

ペットが行方不明になってしまったら以下のことを試してみてください。ペットもあなたのところへ帰りたいはず。諦めず、できることはすべてやってみてください。

### 1. 届けを出しましょう

まずは届け出をしてください。①最寄りの警察、②保健所・保健センター、③京都動物愛護センターの3箇所に届け出てください。旅先など自宅から離れた場所でなくなった場合には、その地域で届けを出しましょう。

### 2. ビラの配布で情報を集めましょう

ビラを作成して、ペットがいなくなった地域などで配布したり、お店にお願いして貼ってもらったりしましょう。ビラにはできるだけ詳しいペットの情報(年齢、色、大きさ、種類など)といなくなった場所、連絡先を記入しましょう。



▲オバQさんの愛猫ヒメさん

### 3. インターネットで情報を集めましょう

京都動物愛護センターのウェブサイトには、迷子の犬猫情報が掲載されていますので、確認してみましょう。近隣自治体のウェブサイトに出ている情報も確認してみてくださいね。(オバQ)

首輪やハーネス等もペットを特定する大きな助けになります!

## 犬の譲渡について

センターでこんなことやってます!

### 譲渡の現状

飼主放棄や迷子により動物愛護センターに収容された犬は、必ずしも健康とは限りません。衰弱していたり、骨折や原因不明の脱毛が見られることもあります。そこで、まず健康状態を確認し、元気であるか、食欲があるか、病気や感染症等に罹っていないか、人に危害を加えるおそれがないか、問題行動はないか等の確認が行われます。このような経過観察期間を経て、晴れて譲渡デビューとなります。犬が収容される部屋は個室になっており、扉の下半分には目隠しがなされ、犬が落ち着いて過ごせる環境になっています。収容犬は、公園内をお散歩したり、しつけトレーニングを受け

ながら新しい家族を待っています。しかし、収容犬は譲渡希望者の方が想像しているより高齢な場合が多く、譲渡がなかなか進みにくのが現状です。センターには10歳以上のシニア犬も多く、5歳未満の犬は約4割ですが、譲渡希望者のうち、5歳未満の犬を希望される方が約7割を占め、希望と現実との差が生じていることが原因の一つです。また、8歳以上の犬を希望される方の半数以上が小型犬希望ですが、収容犬の7割以上が中・大型犬という現実もこれに拍車をかけています。

私の経験ですが、シニア犬はとても穏やかで飼いやすい印象があります。センターの職員やボランティアの中で

もとっても人気があります。センターでは、譲渡後も、犬のしつけ等に関する相談などのアフターケアも可能な限り行っており、新しい家族と一緒に幸せに生活しているようです。譲渡された犬たちの新しい生活の様子もセンター内に展示していますので、来所の際には是非ご覧ください。

シニアになってから飼育放棄される犬、迷子になってしまってお迎えのない犬、そんな犬たちが譲渡を待っています。そんな犬たちのセカンドライフをサポートできるのも、また新しい家族なのです。(M.Y)



▲保護されたマルさん

## ボランティアスタッフ 活動紹介

### 一番うれしいこと

「ボランティアをしていると、うれしいことは？」と聞かれたら、「幅広い年齢層の方、そしてペットが訪れる上鳥羽公園。どこもが安全で快適な場所であるようにと私たちは願っています。ゴミや危険物拾い、危険な場所のチェックなど自主的に心がけて活動しています。ドッグランのフェンスの下の隙間も、万が一にも小型犬が抜け出さないように、ボランティアが手作りして柵をつけました。作業しながら、公園を訪ねた方といろいろお話ができるのも楽しみです。フェンスの隙間をふさいで、より安全で快適なドッグランに!

### ボランティア活動で感じる事

### よりよい公園へ

「ボランティアをしていて、幅広い年齢層の方、そしてペットが訪れる上鳥羽公園。どこもが安全で快適な場所であるようにと私たちは願っています。ゴミや危険物拾い、危険な場所のチェックなど自主的に心がけて活動しています。ドッグランのフェンスの下の隙間も、万が一にも小型犬が抜け出さないように、ボランティアが手作りして柵をつけました。作業しながら、公園を訪ねた方といろいろお話ができるのも楽しみです。フェンスの隙間をふさいで、より安全で快適なドッグランに!

### ある日の活動日誌より

「ドッグランにいられていた年配のご夫婦。その奥様が外の慰霊碑にきれいな花を供えてくださるのを見た。亡くなった子たちを忘れず、誰にも何も言わずに…。なんて心の美しい優しい方なのだろう。こういう女性に、そして飼い主になりたいと思った。」(2期・松浦ひろみ)

▲「センターの動物たちのために何かできることをしたい。」という思いで、慰霊碑にきれいなお花が絶えずお供えくださっています。

ボランティア活動を通じ、たくさんの方や犬猫と出会う中で、私たちもさらに成長していけたらと思います。(T.M)